

18年度当初予算成立

～「福井元気宣言」固めの予算！～

予算概要

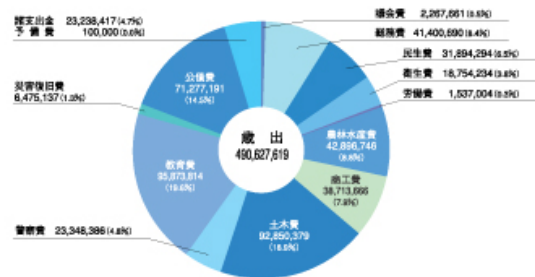
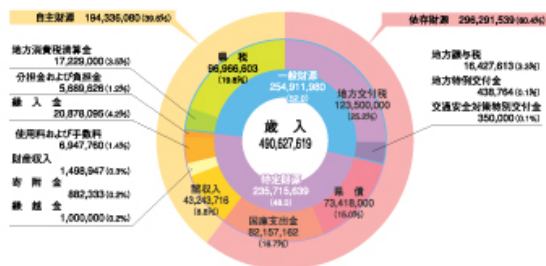
西川知事が掲げるマニフェスト「福井元気宣言」。平成18年度は、その最終年次に当る「固めの年」です。

そこで新年度は、景気回復傾向にある本県経済の一層の活性化や農林水産業の新たな展開などの産業振興のほか、「少子化対策」や「健康長寿ふくい」「県民生活の安全・安心」「高速交通体系の整備促進とまちづくり」など9つを重点課題として、予算編成を行いました。

平成18年度当初予算の規模

会計区分	18年度当初予算額	対17年度当初予算額比(%)
一般会計	4,906億2,761万9千円	99.2
特別会計	195億6,955万円	104.0
企業会計	338億6,946万4千円	98.3
計	5,440億6,663万3千円	99.3

平成18年度当初予算 総額 **5,440億円**



予算編成の工夫

「元気宣言」中間評価の反映

昨年実施した「福井元気宣言」に対する中間評価の結果を踏まえ、課題が指摘された農業、環境、景観等の分野の施策を強化しました。

「三位一体の改革」を契機とした本県独自の予算編成方法

国庫補助事業でなくなり、より自由に進められるようになった事業については、毎年度の成果目標を明確にし、その達成度によって次年度予算の伸ばし方や配分額を連動させるシステムを試行的に導入しました。

県民、市町、民間団体との協働

少子化対策や子どもの安全・安心、防犯体制などの分野において県民の皆さんとの協働事業をさらに充実・発展させました。

また、住民に最も身近な基礎自治体である市町との協働を積極的に進めるとともに、「官から民へ」という流れの中で、企業などの民間活力を県政に積極的に活用します。

職員提案型ゼロ予算事業

既存の事業や施設の有効活用など、職員が創意工夫を凝らし、特別な予算措置を伴わない事業を推し進め、職員が自主的に、新たな課題に迅速・的確に対応していく職場風土を醸成していきます。

政策形成過程からの県民参加

「予算編成過程への県民参加」に寄せられたご意見・ご提言や、「ふくい女性会議」、「座ぶとん集会」などで直接県民の皆さんからお聞きしたご意見を事業に活かしました。

9つの重点課題

経済の活性化

挑戦（チャレンジ）ふくいの推進

平成15年度に策定した「挑戦（チャレンジ）ふくい」に基づき、新規創業支援、企業誘致、雇用対策などに積極的に取り組み、全国、世界に通用する最先端の技術・新製品の開発や中小の地場産業の育成、中心市街地の商店街の活性化を支援します。



県工業技術センター先端技術（レーザ）研究

リーター・ニート対策

定年を迎える団塊の世代で、田舎暮らしを希望する都市に住む人が「新ふくい人」として本県に定住・居住するよう市町とともに働きかけ、住まいの確保や就職等を支援します。

また、県内のフリーターやニートの就職や社会参加の促進に向け、研修や労働体験などを実施します。



「ニート」とは？
厚生労働省では「年齢15～34歳で学校（職業訓練も含めて）に通わず、仕事に就かず、家事手伝いもしていない人たちのこと」としています。

観光誘客（ビジットふくい）

民宿や、エコ・グリーンツーリズム、伝統工芸産業を、観光誘客の新たなカンフル剤となるよう、旅行商品の開発や、民宿組合等への支援を行います。



観光客誘致を目指し、韓国の旅行者者に県内観光地をPR

エネルギー研究開発拠点化計画の推進

地域と原子力の自立的な連携を目指し、本県をエネルギーの総合的な研究開発拠点地域とするために策定されたエネルギー研究開発拠点化計画。産学官等の幅広い参画を得て、会議を設置し、この計画を推進しています。

原子力・エネルギー技術を活用した新商品の開発研究に取り組む嶺南地域の企業等を支援し、技術移転を促進するとともに、原子力関連技術者を育成するため、原子力発電所内でのより実践的な研修を行います。



技術力向上を目指す原子力関連業務従事者研修

農林水産業の振興

担い手の育成

地域が一体となった集落営農組織や意欲的に農業に従事する認定

地産地消の新展開とふくい野菜の販売促進

単に「地域の食材を売る」ことから、「地域の食材を加工・調理して提供する」というマーケティングの考えを取り入れ、新たな商品開発や直売

農業者を育成し、「家業から企業へ」の流れを加速させます。

また、平成19年度から国の新たな経営安定策の対象となる水田面積を現在の24%から3年間で倍増します。

スイカ、ウメ、ラッキョウ、スイセン等の園芸品目については、生産目標を明確に掲げ、生産拡大のための環境整備を進めます。



農業の新たな担い手づくりを推進

福井米の販売促進

コシヒカリ育成50周年を記念したさまざまなイベントを開催し、県外にPRするとともに、平成18年度から県外流通が始まる新品種「イクヒカリ」のブランド化を促進します。



イクヒカリの試食販売風景

市の開催・PRを行うなど、地産地消の新たな展開を図ります。

また、スイカ、勝山水菜などを「健康長寿ふくい野菜」として全国に発信し、販売を促進します。



豊かな自然に恵まれた福井にはおいしい野菜がいっぱい

少子化対策

ふくい3人っ子応援プロジェクト

3人目以降の子どもについて、生まれる前の妊婦検診から、3歳に達するまでの保育料等の公的サービスを原則無料で受けられる「ふくい3人っ子応援プロジェクト」を推進するとともに、子どもを3人以上持つてほしいというメッセージとして強かにアピールします。

また、不妊治療を受けている夫婦に対する助成も拡充します。

※例えば年収が550万円程度で子どもが3人（1、3、5歳）いる家庭では、3人目の子どもについては、病児保育等の利用回数にもよりますが、年間約5万～8万円程度の保育費がかかっています。

「ふくい3人っ子応援プロジェクト」により、この経費は全て無料になります。また、3人目の出産時には、妊婦健診の自己負担分約7万～8万円も無料になります。

子育て支援

「子育てマイスター」の活動を一層活性化し、子育ての不安・悩みの解消を図ります。また、子育てしやすい労働環境の整備を促進し、父親の子育てへの参加や、働く意欲のある女性の再就職を支援します。

(3歳未満の第3子以降に対する負担の軽減)

内容	軽減内容(現行)	軽減内容(18年度～)
出産費用 (妊婦健診費)	健診11回分相当 (約7万～8万円)を自己負担	無料
通常保育	保育料の1/10 (2千～4千円程度/月)を自己負担	
一時・特定保育	自己負担約2千円/日	
すみずみ 子育てサポート	約700円/時間の1/2 (約350円)を自己負担	
病児保育	自己負担約2千円/日	
医療費	無料(子どもが3人以上いる場合は 就学前の全ての児童が無料)	



県内各地で活躍中の子育てマイスター



「子育てマイスター」とは？
保育、医療、看護、保健など子育てに関する資格を持ち、子育てに関するアドバイザーとして地域でボランティア活動がされる方で、現在約400名の方に登録いただいています。

健康長寿ふくい

健康寿命

県民の平均寿命は男女とも全国第2位、また、健康寿命は、男性は全国第2位、女性は全国第10位です。これをさらに延ばし、「健康長寿」な福井県を確かなものにするため、全国に先駆けて、健康と若さを保ちながら年を重ねる「アンチエイジング」医学や「メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)」の考え方を取り入れ、かかりつけ医が行う日頃の健康診断の充実を図ります。



ウエスト周囲径を測って健康チェック



「アンチエイジング医学」とは？
老化による心身の衰えを穏やかにし、健康で長生きするための医学

「メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)」とは？
肥満、高脂血症(脂質異常)、高血圧、糖尿病のうち、肥満を含む3つ以上の症状を併発している状態をいいます。

食育の推進

「食育」先進県として、新たに「魚がさばける福井人」を育成する県民運動の展開や、食べ残しを減らす活動の推進、学校に配置されている栄養教諭の数を増やします。



学校・地域・家庭で、さらなる食育を促進



「栄養教諭」とは？
食に関する指導と学校給食の管理を行う食育担当の先生です。福井県では昨年度全国に先駆けて10人の栄養教諭が採用されました。

人づくり

子どもの教育の充実

平成16年度に策定した「元気福井っ子笑顔プラン」に基づき、複数の先生によるチーム・ティーチング等のきめこまかな教員配置や、教科指導の強化、不登校等の未然防止等に向けた少人数学級編制を計画的・段階的に導入します。

また、教員の資質向上に努め、未来を担う子どもたち一人ひとりの可能性を伸ばす教育環境を整備します。

県立大学の充実

平成19年4月の公立大学法人化に向けた取り組みを進めるとともに、生物資源学部の教育プログラムについて、技術者としての質を保证するJABEE(日本技術者教育認定機構)の認定審査を受けるためのカリキュラムの充実を図ります。



高校生の英会話能力育成に向けた取り組みも強化



平成19年度の法人化を目指す県立大学

県民生活の安全・安心

子どもの安全・安心の確保

「子ども安全・安心パワーアップ事業」として学校への防犯ビデオの設置や自治会、PTA等が実施する見守り活動に要する経費を県が支援します。

また、声かけ事案の発生状況等をインターネットで地図上に示すシステムを整備し、学校関係者や保護者の見守り活動を支援します。

昨年に引き続き「福井治安回復プログラム2006」を策定し、「子どもの安全・安心の確保」に重点的に取り組む他、「一戸一灯運動」の促進、「鍵かけ」の呼びかけ等により、女性の防犯安全対策の強化等に取り組めます。



地域が一体となって子どもの安全を守りましょう

雪害対策

平成18年豪雪を踏まえ、高速道路等における雪害対策の強化、子どもの通学路等における安全確保を図るための、小学校周辺の歩道除雪、雪下ろし等による死傷者事故の防止、迅速な情報の提供等に努めます。

福井豪雨災害対策

足羽川「河川激甚災害対策特別緊急事業」については、平成20年度の完成を目指して堤防補強工事の他、桜橋からJR線までの河床の掘削等の工事を着実に進めます。

また、足羽川上流部や鞍谷川についての河川拡幅、護岸工事や山間集落等における砂防治山工事を着実に進めます。



足羽川で進む河床掘削工事

高速交通体系の整備促進とまちづくり

北陸新幹線

昨年6月に着工した福井駅部について、本年秋には埋蔵文化財調査を終え高架橋工事に着手し、平成20年度の完成を目指します。

今後、金沢開業と同時期での福井開業、敦賀までの早期認可および整備に向けたスキームの早期見直しに向け、全力を尽くします。



昨年6月、北陸新幹線の福井駅部建設工事がスタート



「舞鶴若狭自動車道」と「中部縦貫自動車道」の違いは？
舞鶴若狭自動車道は道路建設を行う会社が整備する「高速自動車国道」、中部縦貫自動車道は国土交通省が整備する「一般国道の自動車専用道路」です。

高速道路

中日本および西日本高速道路(株)による整備が決定した舞鶴若狭自動車道について、早期に事業が進むよう、新会社に対する要請を強化します。

中部縦貫自動車道については、永平寺西・永平寺東間の平成18年度中の供用開始および上志比・勝山間の平成19年度中の供用開始を目指すとともに、大野～油坂道路の整備計画組入れに向けて働きかけを行います。



整備が進む舞鶴若狭自動車道

まちづくり

県都福井市の中心部の整備については、福井市とともに、福井駅西口駅前広場の整備や西口中央地区の再開発に取り組んでいきます。

今年秋、新快速が乗入れる敦賀のまちづくりについては、中心市街地の空き店舗対策や、観光用の自転車タクシーの活用、港へ向かう道路にオレンジ色の道路照明を整備するなど、みなと街・敦賀の魅力づくりを、県と市等が協働して進めます。



敦賀市金ヶ崎付近

歴史的遺産、自然の保全・活用

歴史的遺産の保全・活用

全国で初めて「伝統的民家の保存および活用の推進に関する条例」を制定し、ふるさと福井の象徴として保存継承していく価値のあるものを積極的に保存していきます。

また、丸岡城とともに「日本百名城」に選定された一乗谷城の発掘調査に着手し、観光振興の目玉となるような整備計画の策定につなげます。

中央公園と福井城址を結ぶ「御廊下橋」復元のための調査等も実施します。



福井の貴重な歴史的遺産を観光の目玉に

ラムサール条約湿地「三方五湖」の再生

ラムサール条約湿地に登録された「三方五湖」では水質浄化の研究を行うなど、地域ブランドとして美しい三方五湖の再生を図り、観光誘客につなげます。また、希少な魚類の生息状況調査や田を活用した魚類の繁殖と水鳥の餌場の確保を行うなど、湖の自然環境の保全に努めます。



各湖の塩分濃度により様々な魚類がせい息する三方五湖



「ラムサール条約」とは？
魚や貝、鳥、獣などさまざまな生物が生息する湿地を国際的に協力して保全し、その適正な利用を促進するための条約です。日本では、これまでに33箇所が条約湿地として登録されています。

文化の振興とふくいブランドの展開

◆文化の振興

福井のさまざまな歴史・文化は、全国に誇ることができるブランドであり、私たち自身がそのすばらしさを知ることが大切です。そのため、県民が日頃から様々な文化に親しみ、楽しめる環境づくりを推進します。

特に、多くの子もたちが本物の芸術文化を鑑賞・体験できるように、県立音楽堂における「児童・園児向けのコンサート」や若手演奏家等による出張演奏会などを実施。

県立図書館においては、本県出身作家の愛蔵品や直筆原稿等を展示・紹介する「ふるさと文学コーナー（仮称）」の整備などを行います。



ふくいブランドの展開

アニバーサリーの活用

明治から大正にかけて活躍した日本美術界のリーダー・岡倉天心の著書「The Book of Tea（茶の本）」が出版から100周年を迎えます。これを契機として、「美術」、「外国語」、「お茶」を切り口として記念事業を実施し、県民に天心の偉業について理解を深めてもらうとともに、その魅力を全国にPRします。

子どもたちが音楽など本物の芸術文化に触れる機会を創出



県が取得した岡倉天心著作の初版本

また、平成19年の継体天皇即位1500周年に向け大阪府枚方市でセミナーを開催します。

恐竜のブランド化

化石の発掘が全国一の恐竜を、本県のブランドとして全国にPRするため、出前講座の開催や、化石発掘現場ツアーの実施、魅力ある恐竜博物館ミュージアムショップの運営などを推進します。



恐竜のを「ふくいブランド」として全国にアピール

「考福学（こうふくがく）」運動

子どもから大人まで、県民一人ひとりが、産業、文化、自然、歴史など「実は福井」で生まれ、埋もれている様々な地域資源の魅力を発見・再認識し、自らが「かたりべ」として、外に向かって語って聞かせる「考福学」運動を展開していきます。

また、地名の由来や祭り、方言、食などを次世代に確実に継承していくため、「平成ふくい風土記」（仮称）の作成に着手します。

重点課題における主要施策

【経済の活性化】

- ・挑戦チャレンジふくいの推進
 - ふくい発新商品開発支援事業 10,900
 - 中心市街地店舗開業支援事業 18,510
- ・観光誘客(ビジットふくい)
 - 民宿の魅力づくり支援モデル事業 1,718
 - 伝統的工芸品産地誘客拡大事業 6,235
- ・団塊の世代、フリーター・ニート対策
 - 団塊の世代社会貢献活動促進事業 2,450
 - 団塊の世代就労支援事業 5,379
 - ふくい田んぼ塾開催事業 4,823
 - 「新ふくい人」誘致促進事業 16,070
 - 若年者就職基礎能力向上事業 2,368
 - 若年無業者(ニート)自立支援事業 2,161
- ・エネルギー研究開発拠点化計画の推進
 - 原子力・エネルギー関連技術開発支援事業 35,000

【農林水産業の振興】

- ・担い手の育成
 - 農地集積実践事業 11,400
 - 農業生産組織等育成支援事業 12,448
- ・福井米の販売促進
 - コシヒカリ育成50周年記念事業 7,000
 - 「イクヒカリ」販売促進支援事業 8,400
- ・園芸品目の生産拡大
 - 福井うめ産地活性化事業 4,223
 - 越前水仙産地活性化支援事業 5,000
- ・地産地消の新展開とふくい野菜の販売促進
 - 地産地消の新展開支援事業 5,000
 - 「健康長寿ふくいの野菜」販売促進事業 9,000
- ・全国植樹祭に向けた取組み
 - 全国植樹祭開催準備事業 15,400
 - 全国植樹祭関連県民運動展開事業 5,650

【少子化対策】

- ・経済的負担の軽減
 - ふくい3人っ子応援プロジェクト —
 - 不妊治療費助成事業 40,060
- ・縁結び
 - 若者出会い交流応援事業 8,226
- ・子育て支援
 - 父親の子育て力向上推進事業 1,500
 - 子育て女性の再就職支援事業 3,684
- ・フレンドリー企業の支援
 - 企業の子育て奨励事業 19,265

【健康長寿ふくい】

- ・健康寿命
 - 「健康長寿度チェック(仮称)」推進事業 1,781
 - 「ふくい(腹囲)新健康自己チェック」推進事業 1,286
 - 生涯を通じた口腔の健康増進事業 2,542
- ・新介護保険制度への対応
 - 地域包括支援センター充実強化支援事業 6,216
- ・食育の推進
 - 元気いきいき福井をつくる食育推進事業 68,474
- ・がん検診・がん治療
 - 元気長生きがん予防推進事業 3,583
 - 陽子線がん治療施設整備事業 269,600

【人づくり】

- ・子どもの教育の充実
 - 元気福井っ子笑顔プラン事業 1,008,000
 - 小・中学校教員指導力向上事業 3,630
 - 教科指導力養成セミナー実施事業 1,200
 - 学力向上セミナー実施事業 1,745
- ・県立大学の充実
 - 県立大学法人化準備事業 94,169
 - 県立大学生物資源学部における教育水準向上事業 1,640

【県民生活の安全・安心】

- ・子どもの安全・安心確保
 - 子ども安心3万人作戦 23,049
 - 子ども安全・安心パワーアップ事業 50,350
 - 子ども地域安全情報の提供 5,761
- ・治安の向上
 - わがまち安全・安心ロック&ライトアップ作戦 2,884
 - 女性のための防犯安全対策事業 1,078
- ・地域防災対策
 - 災害時要援護者避難支援人材育成事業 1,901
 - 災害情報インターネットシステム拡充事業 26,481
- ・雪害対策
 - 除雪事業(公共・県単) 889,600
 - 歩道除雪モデル事業(県単) 43,000
- ・交通安全対策
 - 交通安全3S運動ステップアップ事業 1,841
- ・福井豪雨災害対策
 - 河川砂防・治山激甚災害対策特別緊急事業 12,239,175

【高速交通体系の整備促進とまちづくり】

- ・北陸新幹線
 - 北陸新幹線建設事業 1,000,000
- ・高速道路
 - 舞鶴若狭自動車道整備推進事業 154,500
 - 中部縦貫自動車道整備推進事業 12,548
- ・まちづくり
 - 学生発 中心市街地等商業活性化プラン誘発事業 1,300
 - 中心市街地店舗開業支援事業 再掲 18,510
 - 手寄地区市街地再開発における県施設整備事業 4,105,286
 - 新快速直通化開業記念行事等開催事業 5,000
 - 快速鉄道による京阪神観光客拡大事業 5,000
 - 敦賀港線活用調査事業 500
 - 中心市街地活性化道路照明灯整備事業 10,300

【歴史的遺産、自然の保全・活用】

- ・歴史的遺産の保全・活用
 - アカタン砂防歴史遺産活用促進事業 7,800
 - 一乗谷朝倉氏遺跡整備・活用推進事業 54,902
 - 福井城址整備事業 41,800
- ・景観対策
 - 福井の景観づくり推進事業 467
- ・ラムサール条約湿地「三方五湖」の再生
 - ラムサール条約湿地「三方五湖」再生整備事業 11,104

【文化の振興とふくいブランドの展開】

- 文化の振興
 - 福井県民文化総合推進事業 56,600
 - 子どものための文化芸術促進事業 24,860
 - 県立図書館等歴史資料活用推進事業 5,476
 - 「ふるさと文学コーナー」(仮称)整備事業 1,156
 - ふくい漢字学習推進事業 4,726
- ふくいブランドの展開
 - ・アンバーサリーの活用
 - 岡倉天心「茶の本」出版100周年記念事業 8,515
 - 継体天皇即位1500周年記念事業 1,850
 - ・恐竜のブランド化
 - 恐竜ブランド発信事業 6,092
 - ・「考福学(こうふくがく)」運動
 - 「考福学(こうふくがく)」運動推進事業 3,450
 - 「実は福井」の技発見事業 2,884
 - 「平成ふくい風土記」(仮称)作成事業 550